

プレス資料

ミディ・ピレネー地方観光局

ミディ・ピレネーで過ごす、かけがえのない時間



航空機のパイオニアを生んだヨーロッパにおける航空産業の首都にして、宇宙産業の後方基地。旅の楽しみと出会い、交流を生む、ヨーロッパの歴史を感じさせる小道が行き交う、しめやかな街並み。小さな村・ルルドに暮らす親しみ深い人々に代表される、人をやさしく迎え入れる土地柄。雄大な自然、活気、美食…ミディ・ピレネー地方へようこそ！

LANGUEDOC
ROUSSILLON
LA RÉGION MIDI
PYRÉNÉES



目次

特色	3ページ
冒険の時間	4ページ
自分のリズムで楽しむ旅	8ページ
共有の時間	13ページ
喜びの時	16ページ
オフのひととき	22ページ

特色

世界遺産とアール・ドゥ・ヴィーヴル（暮らしの芸術）の融合で知られるミディ・ピレネーは、アイデアとイノベーションにあふれた活気に満ちた地域です。ミディ・ピレネー地域圏の首府、トゥールーズはフランス第3の大学都市であり、世界最大の航空機大手エアバスが居を構えるヨーロッパ航空業界の首都でもあります。

広大な土地

フランス国内で最も太陽に恵まれた地域のひとつであり（1年の平均日照時間は約2,000時間）、タルン渓谷、アヴェロン渓谷、ロット谷、ドルドーニュ渓谷、ピレネー山脈の高き頂など、広大な土地と多様な景色を誇るミディ・ピレネー。総延長3万kmのトレッキングコースが整備された、ピレネー国立公園と4つの地方自然公園を持つミディ・ピレネーは、徒歩散策、サイクリング、乗馬、ウォータースポーツを楽しめ、ミディ運河ではクルージングを、ピレネー山脈ではスキーやウィンタースポーツを堪能できる理想的な場所です。

偉人

スーラージュ、ロートレック、シャンポリオン、ピエール＝ポール＝リケ、ドミニク＝アングル、航空機のパイオニアたち。彼らの作品は遺産として、今もミディ・ピレネーの土地で脈々と引き継がれています。

特産品

ロックフォールチーズ、フォアグラ、ケルシーの黒トリュフ、サフランなど、ミディ・ピレネーの恵まれた空の下、高品質の食材が多々この地で誕生しました。AOP（保護原産地呼称）認定数は15を誇るブドウ畑に適した土地でもあり、職人技が光る製品も多く生み出しています。その一方で、マルシアック・ジャズ・フェスティバル、シルヴァネス宗教音楽フェスティバル、トゥールーズ・リオロコ・フェスティバルなど、多くの人々が楽しめる大規模な国際的イベントも多数開催されています。

ミディ・ピレネー観光スポット特選

ミディ・ピレネーは世界的に知られた名所26カ所を「観光スポット特選」として制定、ミヨー橋、ピック・デュ・ミディと天文台、ユネスコの世界遺産に登録されているガヴァルニー大圏谷、ルルドと聖母の町、アルビとトゥールーズ＝ロートレック美術館、カオールとヴァラントレ橋、コンク、ロカマドゥール、モワサックなど、観光名所にあふれています。

トゥールーズ、カナル・デ・ドゥ・メール、リュション、サン＝ベルトラン＝ド＝コマンジュのヴァルカブレール、コレクション・アリエージュ（ニオー洞窟、マスダジル洞窟、サン・リジエ、フォワ、モンセギュール、ミルボア）、ロデーズ、ミヨー橋、コンク、ヴィルフランシュ＝ド＝ルエルグのナジャック、オーシュ、マルシアック、フララン＝バイズ＝アルマニャック、ピック・デュ・ミディ、コトレ＝ボン＝デスパーニュ、ガヴァルニー大圏谷、ルルド、カオール、ロカマドゥール、サン＝シール＝ラボビーのベシュ＝メルル、フィジャック、ドルドーニュ渓谷、ソレーズ＝ルヴェル＝サン＝フェレオル、ミディ運河の水源、アルビ、コルド＝シュール＝シエル、モン・トバン、モワサック




Grands Sites
Midi-Pyrénées



冒険の時間 大空と宇宙を制覇しよう

ヨーロッパ航空宇宙産業の首都、トゥールーズは歴史を打ち破り、大空を制覇する激動の歴史に新章を加えました。街を発展へ導くにとどまらず、さまざまな技術を惜しみなくオープンにしています。訪問者へ門戸を開いたエアバス社では組み立てラインの見学が可能。エアロスコピア航空博物館は優れた伝説の航空機を大胆に展示する一方で、シテ・ド・レスバスのテーマパークでは身近に宇宙を感じられる遊び心に満ちたアクティビティが楽しめます。地上の喧騒から離れた海拔2,877メートルの高みにあるピック・デュ・ミディでは天文学の歴史に触れられ、最も星に近い場所で一夜を過ごすこともできます。

ピック・デュ・ミディの頂上で 過ごす星の夜

「旅はまるで冒険の一部」。高度約3,000mの山頂にあるピック・デュ・ミディを目指そうとする人々は、そう感じるに違いありません。冒険は、ロープウェーに乗ることから始まります。頂上からの見事なパノラマ——眼下には連なるピレネー山脈を望むことができ、19世紀以降、天文学者たちがこの地に惹きつけられてきた理由が理解できるようになります。1870年、天文台建設なる大事業が始動して以来、この唯一無二の施設では科学的かつ重要な研究が行われてきました。1963年、アポロ計画の一環で、NASAの融資を受け天体望遠鏡を設置、細部にわたる月面写真の撮影に使用されることになりました。この施設内に、ヨーロッパで最も高い場所に位置する宇宙博物館があり、訪問者は人間の壮大な冒険を振り返り、他に類を見ない太陽と月の観測を体験することができます。ピック・デュ・ミディのダークスカイ保護区では夜の時間帯、定期的に天体観測のイベントを開催しています。博物館訪問、ピックにあるレストランで食事、山々に沈む夕日の鑑賞、夜空の観測などのプログラムもあります。

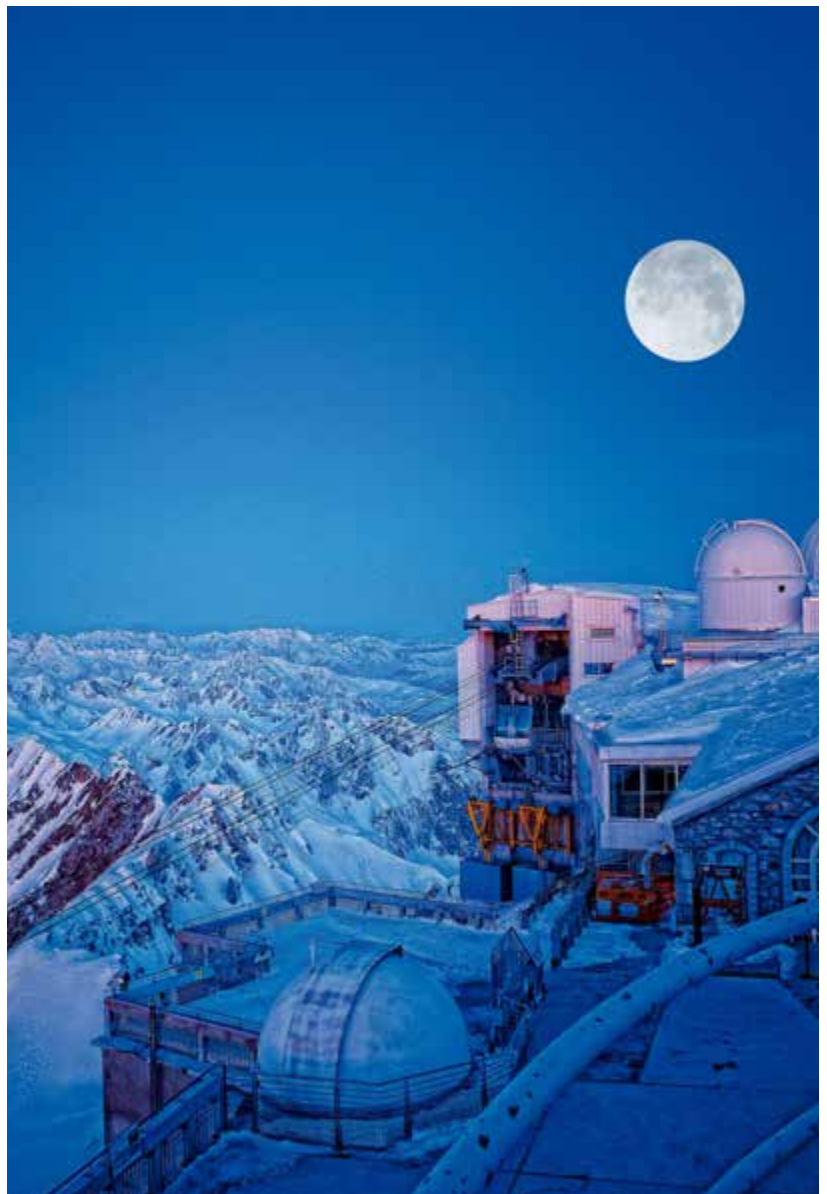
お勧めは ピック・デュ・ミディ（オート＝ピレネー県）の星が散りばめられた夜空

ベストシーズン 4月～10月、17時～23時半

誰向け？ 家族、ロマンチストな人、思索的な人、玄人から素人まであらゆる天体ファン

お勧めの宿泊場所 ヨーロッパで最も高い場所にある天文台の宿泊施設がおすすめ。最も星に近いところで眠り、山から上るご来光を目撃できます。部屋数は15室のみ。

詳細はこちらのリンクから
picdumidi.com



♥ ブログから

「窓から見える大地はとてつもなく大きいのに、天文学的観点から見ればどれほど小さいか。宇宙旅行をする夢を見たことがありますが、ピック・デュ・ミディの頂上で、実現することができました!」

フルストーリーはこちらから:
「ル・コワン・デ・ヴォワイヤジュール」
www.lecoindesvoyageurs.fr/une-nuit-au-sommet-du-pic-du-midi-la-tete-dans-les-etoiles



ピック・デュ・ミディ体験談

« 1年365日、毎日登っても、同じ状況は二度と訪れません。
同じ色は二度と見られず、同じ感動も二度と味わえないんです。»

スノーボード世界チャンピオン、マシュー・クレペルの言葉

ミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内ピック・デュ・ミディのページでビデオが見られます

息を呑む美しさ!

ピック・デュ・ミディの動画と写真はこちら

<http://www.picdumidi.com/photos-videos/>



ブログから

「エアバスA380の組み立てラインを見学しました。格納庫にある巨大な鋼鉄を目の前にして、自分をとても小さく感じたと言っていました。A380の翼幅は80m、両端にもう2機並んでいたら、壮観としか言いようがありませんよね?」

フルストーリーはこちらから
「ヴォワイヤージュ・エトセテラ」
<http://www.voyagesetc.fr/voyage-dans-les-coulisses-airbus-a380/>

伝説の航空機に
近づける夢の一日

エアバスA380、コンコルド、カラベル機。どれもが、空の可能性を広げ、旅への招待状となった航空機です。こうしたわくわくするような飛行機が、トゥールーズにあるエアバス工場内の2カ所に展示されており、ミディ・ピレネー地方が抱いた大空への情熱を今も伝えています。

エアバス本社を訪問

トゥールーズ＝ブラニャック空港に隣接する(空港から10分)、エアバス・インダストリーの組立ラインの工場からマナトゥアー主催の1時間半のツアーが2つ出ており、エアバス社の技術の高さと魅力を同時に堪能できます。

・A380ツアーでは、世界最大の民間機の内部に踏み込むプログラムが用意されています。遠隔計測室、組立工場の作業を上から見学、実寸大のA380のレプリカ機を訪問し、内部構造を知るプログラムもあります。

・パノラマツアーでは、トゥールーズにあるさまざまなエアバスの施設をバスで見て回ることができます。

お勧めは エアバス工場見学(オート＝ガロンヌ県)

ベストシーズン 1年中いつでも(要予約)

誰向け? 飛行機ファン

場所 トゥールーズ

もっと知りたい人は:エアバス社のツアーに航空博物館アエロスコピア訪問をプラスして下さい。

さらに詳しく知るには:www.manatour.fr



アエロスコピア

ヨーロッパ随一の博物館アエロスコピアは、航空機のバイオニアの地であるトゥールーズが誇る特異な遺産を公開し、冒険という航空産業の新たな扉を開きました。クレマン・アデル(他ならぬ、エンジンを積んだ飛行機の試作品を初めて発明し、“アヴィヨン(飛行機)”という言葉を生み出した張本人)を輩出したトゥールーズは、サン＝テグジュベリやメルモースなどの英雄たちが活躍した、航空郵便の発達も見守ってきました。航空宇宙産業とエアバス社の発展と共に、航空産業はさらに進歩を続けています。エアバス社の組立工場の向かいに位置するこの施設内では、本物のコンコルドやエアバスA330BとA400M、さらにはスーパーグッピーへ実際に搭乗することができます。

お勧めは 航空博物館でコンコルドに搭乗(オート＝ガロンヌ県)

ベストシーズン 毎日営業

誰向け? 家族連れ

場所 ブラニャック

さらに詳しく知るには:musee-aeroscopia.fr

ブログから

「回廊の先に待ち受けていたのは、離陸の瞬間。わあ、ついに来た!頭上には金属網の巨大構造が広がり、不思議な詩の世界へ突然放り込まれたような気分。すべてが巨大。続いて、広大な航空機展示スペースに張り出した中二階に下りていきます」

フルストーリーはこちらから
「ツーリズム・アン・ミディ・ピレネー」
<https://tourismemidipy.wordpress.com/2015/02/18/aeroscopia-ciel-mon-musee/>



これまでにない体験

優れたフライトシミュレーター「アヴィアシム」で、 伝説の航空機を操縦！

アエロスコピアでの感動をさらに広げたいければ、世界で最も有能な航空機の操縦桿を握るのが一番です。アヴィアシムは、エアバス A320のコックピットにいるかのようなリアルな体験ができるフライトシミュレーターであり、プロのインストラクターが指導してくれます。エアバス工場とアエロスコピア博物館の向かい側に位置するアヴィアシム・センターには、昼と夜、天気の良いときと悪いとき、さまざまな状況に設定して操縦できるシミュレーターが2機常設されており、リアルな飛行感覚を堪能できます。12歳以上なら誰でも体験可能、時間は40分～120分、2万4,000の空港から行き先を選ぶパッケージがいくつか準備されています。ご予約はこちらからwww.aviasim.fr



シテ・ド・レスパスで 無限の彼方へ

トゥールーズにあるシテ・ド・レスパスは、ヨーロッパの宇宙開発をもとにしたテーマパーク。特に小さい子どもが楽しめるよう、家族向けに作られた施設です。巨大画面でIMAX®の映像が見られ、プラネタリウムや、月面を歩けるシミュレーター、アリアン5のロケット、6歳～12歳向けの宇宙基地、宇宙飛行士のコーナー（3歳から）、宇宙船ソユーズと宇宙ステーションのミールと、順を追って遊ぶことができます。研究者、宇宙飛行士、一般市民の出会いの場であるシテ・ド・レスパスは常に変化し、宇宙開発の進捗を次々と展示に反映させています。

お勧めは 宇宙開発のテーマパーク（オート＝ガロンヌ県）で体験する無重力

営業時間 年中無休

誰向け？ 家族

場所 トゥールーズ

さらに詳しく知るには：www.cite-espace.com





自分のリズムで楽しむ旅 小道で

ミディ・ピレネーはひと目見ただけで通り過ぎることのできる地域ではありません。目の前に広がるのは、時間に追われる街ではなく、確固とした歴史を刻む建造物。ミディ・ピレネーには独自の時間が流れており、自転車で、徒歩で、乗馬をしながら運河沿いの小道をゆったり散策、中でもピレネー山脈の峠、ミディ運河の岸辺、サンティアゴ・デ・コンポステーラの巡礼路は、特別なルートです。

キーワードは自転車

トゥールマレ峠、ペルスール峠など、ピレネー山脈のラセ(ジグザク道)は、ツール・ド・フランスの歴史とレース、世界中のサイクリストたちと常に結びついています。ここ、ピレネー山脈やミディ運河沿いの斜面においては、自転車がスポーツの王者として君臨しています。

ピレネー流ツール・ド・フランス

トゥールマレ峠、スロー峠、ペルスール峠、ダニエ峠、それが意味するところは? こたえはサイン。100年以上前から毎年、フランスとスペインの間にあるピレネー山脈でツール・ド・フランスの選手たちが走ってきた道を自分の自転車で進む、完璧なタイミングです。

お勧めはツール・ド・フランスの選手たちの感動を味わう(オート=ピレネー県、オート=ガロンヌ県、アリエージュ県)

お勧めは ツール・ド・フランスの選手たちの感動を味わう(オート=ピレネー県、オート=ガロンヌ県、アリエージュ県)

ベストシーズン 春と秋が理想的

誰向け? スポーツ好き、情熱的な人、アマチュアのサイクリスト

場所 ピレネー山脈

ミディ・ピレネーの詳細な山岳ルートは地方観光局のウェブサイトで確認できます。もっと知りたい人は:頂上を目指す人々を勇気づけるために、峠には標識が1kmごとに設置されており、頂上までの距離と平均勾配のパーセント表示、標高が記されています。

記念に写真撮影: ルルドの南側にある主要な渓谷の峠(特にオタカム峠とトゥールマレ峠)のゴール地点では、カメラがサイクリストたちを待ち構えており、快挙を成し遂げた夏の思い出を写真に収めることができます。

ICチップ (TIMTOOチップ) 保証金を事前に払えば、各観光案内所(特にアルジュレス=ガゾスト)で自分のタイムを測定できるICチップのレンタルが可能です。トゥールマレ、リュズ・アルディダン、オータカム、スローの各峠(もしくは上りのゴール地点)に計測設備があります。



ツール・ド・フランス走者の生の体験を知るには:

オタカム峠を上り、英雄のように迎えられた、観光を得意分野とするオランダ出身のプロガー、コルノ・ヴァン・デン・バーグのビデオはこちらから

<https://www.youtube.com/watch?v=x3Llh3djtl>



これまでにない体験

オート・ピレネー県サイクリスト証明書を入手しよう

ロビーで見せたり、あらゆる機会に身につけたり、オート・ピレネー県サイクリスト証明書は、自転車走者の努力に与えられる栄誉です。

ステージ1 : 「自転車パスポート」を持参して、オート・ピレネー渓谷にある観光案内所、あるいはオート・ピレネー県評議会に問い合わせます。

ステージ2 : 指定の峠を自転車で登り、観光案内所でパスポートを提示、スタンプを押してもらいます。

ステージ3 : 書類を記入し、指定の住所へ送付します (Hautes Pyrenees Tourisme et Environnement- 11 Rue Gaston Manent - BP9502 - 65950 Tarbes cedex 9)。スタンプの数に応じ、銅(6個)、銀(7~11個)、金(12~15個)の証明書を受け取ることができます。

旅のヒント

電動自転車で登るという手段もあります! 走行距離60km、時速15kmの電動自転車に乗れば、スポーツが得意ではない方でも、ツール・ド・フランスの選手が走った峠を楽々進むことができます。

お問い合わせ先

サン・ラリーにて

<http://alex-sports.com/velo/>

もしくはリュズ・サン・ソヴァールにて

http://tourmaletvelos.fr/?__store=ultimo_french&__from_store=ultimo_english



カナル・デ・ドウ・メールを自転車で巡る

ミディ・ピレネーで最も美しく最も穏やかなサイクリングロードといえば、ドウ・メール運河沿いの「緑の道」。ミディ運河からガロンヌ運河まで続いています。ミディ・ピレネーを横切る形で整備されたこの道は、全長約145km。もともと、曳船用に運河に沿って作られた古い道を利用した、木陰の多い道です。16世紀、地中海と大西洋を運河で結ぶというピエール・ポール・リケの夢を実現させた、ヨーロッパでもめずらしい説明不要のすばらしさを誇るこの長い道は、ユネスコ世界遺産に登録されています。

お勧めは 世界遺産に沿って進む旅（オート＝ガロンヌ県、タルヌ＝エ＝ガロンヌ県）

ベストシーズン 特に春と秋が理想的

誰向け? 家族連れ、アマチュアのサイクリスト

場所 大西洋から地中海まで

旅のヒント

身軽に旅をするなら、バガフランスに電話しましょう。ミディ運河を旅するサイクリストやトレッキングを楽しむ人々のために、荷物を運んでくれるサービスです。サービスが利用可能な地域はトゥールーズとセツ、時期は5月から9月までの毎日で、自転車の運搬にも対応してくれます。サイクリング・ホリデーに特化した旅行会社ラルベンヌも、荷物と自転車の運送を行っています。

ブログから

「サイクリングロードはどれも比較的平らで（特別な技術は不要です）、心地いい環境の中、誰もが自分のペースで走ることができます。旅の途中、ボルドーから来たという1日80キロ走る若い体育会系の人々や、1日20km散策しているというカップル、子連れの家族（子どもが4人の家族も）、定年を迎えたという元気なシニアのグループ、外国人、気ままに自転車旅行をする人々、私たちのようにベビーカーを押しながら進む家族にも出会いました」

家族でのミディ運河の長旅に関するフルストーリーはこちらから:

www.labougeotteenfamille.com :
<http://www.labougeotteenfamille.com/blog/2011/01/25/le-canal-du-midi-en-famille-et-en-velo-sil-vous-plait/>

カナル・デ・ドウ・メールで 贅沢なひとときを

平底船のホテル、 オテル・ドウ・リュクス・ロザ

オランダの平底船が2010年、エアコンを完備したホテルとして改装されました。8名の乗客が宿泊することができ、ボルドーからカルカソンヌまでクルージングします。利用できるのは、4月の初めから10月まで、すばらしい料理と地元のワインをゲストのために用意するシェフを含む、4名のクルーが同乗します。運河沿いの小道を走るための自転車も用意されています。遠出の際はプロのガイドが同行し、案内します。





水に浮かぶ ホテルバルジュ・サン・ルイ

約15年前にオランダの貨物用平底船を改装したこのホテルには、最大6名のゲストが宿泊でき(6泊7日)、4月初めから10月までモントーバンとボルドーのあいだのガロンヌ運河をクルージングします。クルーは船長、ガイド、シェフを含む4名で、船内はエアコン完備、バスルーム付きでダブルベッドもしくはツインベッドの部屋が3部屋あります。

お勧めは 船で運河を旅する時間

ベストシーズン 4月の初めから10月まで

誰向け? 家族、グループ

場所 ペニシュ・ロザ

<http://www.vacancesuviales.com/FR/hotel/rosa/>

もしくはバルジュ・サン・ルイ

www.saintlouisbarge.com



ミディ運河体験談

“祖先であるリケが作り上げた作品のことがよくわかりました。見事としか言いようがありません。唯一無二の水路だと思います“

ピエール・ポール・リケの子孫モニク・ドラン・デュ・フレンヌの言葉

ミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内カナル・デ・ドゥ・メールのページでビデオが見られます

ドゥー・メール運河や、バイズ川、ロット川などのミディ・ピレネーの他の河川の航行についてはこちらも参照

<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com>





中世の巡礼者になりきって ロカマドゥールへ

ユネスコの世界遺産の中で、フランスのサンティアゴ・デ・コンボステラの巡礼路ほど、総距離の長い小道を持つものはほかにありません。名称でユネスコの世界遺産に登録されています。コンボステラへ向かう主な巡礼ルートのうち、ル・ピュイの道（ヴィア・ボディエンシス）、アルルの道（ヴィア・トロサ）、ピエモン・道の3つがミディ・ピレネーを通過します。ミディ・ピレネーには、山腹の崖に沿って建物が並ぶ、世界でも例を見ない荘厳な巡礼地ロカマドゥールほか、さまざまな史跡があります。



ブログから

「もちろん、硬い毛織の服を着たわけでも、頭と肩を覆う帽子をかぶったわけでも、通行券の代わりにスポルテルのメダルを身につけて戦地を横切ったわけでもありませんが、それでも、サン・ルイ王の統治下に生きる謙虚な中世の村人のような気分をふいに味わいました」

フルストーリーはこちらから：
「トウリズム・アン・ミディ・ピレネー」
<http://blog.tourisme-midi-py-ecom/2015/12/21/rocamadour-dans-la-peau-dun-pelerin-du-moyen-age/>



ロカマドゥール体験談

ロカマドゥール体験談

“訪れたいと思う人もいれば、小道に行く巡礼者もいる。そのつど、感動的だと思います。信仰心があろうとなかろうと、この場所にはエネルギーがあり、一度訪れると去りがたくなると思います。”

コメディエンヌのコリンヌ・デルペシュの言葉

ミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内ロカマドゥールのページでビデオが見られます

あと一歩踏み込んだミディ・ピレネー体験を求めるなら：

コンク、カオール、オーシュ、フィジャック、モワザック、観光スポット特選 ミディ・ピレネー を参照し、中世までさかのぼっては？





共に過ごす美味しい時間 テーブルにつく時

フォアグラやトリュフをファーマーズ・マーケットで選び、買ったばかりの食材で料理を習いましょう。ミディ・ピレネー地方の人々はオープンで、気前よく、おいしく、評判の高い食材を使った料理の秘訣を教えてください。

ブログから

「マルシェの大きさなどよめきの中で交わされる、会話と駆け引き。市場の奥で、買った家禽の肉がさばかれるのを人々が待っている。道具がなくて家庭ではできないし、一羽の大きさを考えると、いたって合理的!」

フルストーリーはこちらから:
「グルマンディーズ・サン・フロンティエール」
<http://gourmandisesansfrontieres.fr/2012/12/operation-foie-gras-maison-de-retour-du-marche-au-gras-de-samatan-gers/>



いままでにない体験

フォアグラ調理講習会

評判の高いマルシェ・オ・グラがあるジモンには、19世紀のネオコロニアル様式の古い邸宅を改装したレストラン、ヴィラ・カユーザック (Villa Cahuzac) があり、フォアグラの調理講習会が行われています。フェルム・ドウ・テール・ブランシュほか、ジェール県のさまざまな農家も、鴨を使った料理のワークショップを開催しています。



ブログから

「午後2時。場内放送で、小売市場の開始が伝えられる。四方八方から多くの手が伸びてトリュフのまわりを群がり、デパートのセール会場のよう。肩もぶつかり合う。しかしついに、目当てのお宝が入っているクリスタルケースに手が届いた。18グラムで15ユーロ。人生初のトリュフ!今日の戦利品!数分後には、台は空になっていた。隣の卸売市場も人でいっぱい。ものの数分しか経っていないのに!」

フルストーリーはこちらから:
「トゥリズム・アン・ミディ・ピレネー」
<https://tourismemidipy.wordpress.com/2015/12/01/aventure-au-pays-de-lor-noir/>

めずらしい
マルシェに足を運ぶ

マルシェ・オ・グラ

フランスならではの大都市のひとつが、マルシェ・オ・グラ (家禽祭り)。11月〜3月、ジェール県では恒例の行事であり、サマタン、フルーランス、ジモン、オーズ、セサンで開催されるマルシェが特に有名です。仕組みはシンプルで、市場の中で生産者たちが朝、食材 (内臓を取り除いた鴨やガチョウの肉とフォアグラ) を勧め、フォアグラ、コンフィ (油煮)、マグレ (ロースト) などのいい調理法を、顧客に惜しみなく伝授するだけ。ジモンの市がそうであるように、マルシェで最も重宝されているのは、買った家禽をその場でさばき、地元レストランの協力で作られたレシピカードを付けるなど、無料サービスをしてもらえることです。

お勧めは マルシェでフォアグラ選び

ベストシーズン 11月〜3月

誰向け? 料理人、美食家、好奇心旺盛な人

場所 ジェール県で開催されるマルシェ・オ・グラ

ラルバンクで開催されるトリュフの日

12月〜3月の毎火曜日、観光局の後押しで、ケルシーの黒いダイヤモンド、黒トリュフだけを取り扱うとてもめずらしいマルシェ、トリュフ・ドウ・ラルバンクが開催されています。カヴァージュ (豚や訓練された犬と共にトリュフを探すこと) 体験、トリュフを使った料理の紹介、黒トリュフのすばらしさを伝える一般向けプレゼンテーションのほか、レストランで《トゥー・トリュフ (トリュフ三昧)》と名付けられた料理を食べることもでき、市場で買い物もできます。独特の雰囲気があり、一度は行ってみたい理想的なマルシェです。

お勧めは マルシェでいいトリュフの買い方を習う

ベストシーズン 12月〜3月

誰向け? 料理人、美食家、好奇心旺盛な人

場所 ラルバンク (ロット県)、トゥールーズから1時間

<http://truffesnoires-lalbenque.com/journee-truffles/>



ユニークな乗り物でガイヤックのぶどう畑を旅する

ソレックスのバイクに乗ってのどかな田舎道を満喫するほど、心地いいことはありません。うっとり風に髪をなびかせながら、2CVのヴィンテージカーに乗って巡るのもいいでしょう。AOPガイヤックの格付け畑に立ち寄って試飲を行ったり、シャトーで静かな時間を堪能したりするプログラムがあります。

お勧めは AOPガイヤックを巡り(タルヌ県)

ベストシーズン 予約をすればいつでも

誰向け? ストレスフリーな旅を好む人

場所 ガイヤック、ラバンスタン、サン＝シュルピス、リスル＝シュル＝タルヌにある観光案内所からソレックスで。2CVでの散策では、参加者のいる場所ヘドライバーが迎えにいきます。

<http://solexbalades.com>

さらに一步踏み込んだ旅

車、熱気球、電動自転車でアルマニャックを巡る

古いコンバーティブルカー、あるいは熱気球に乗って、銃士と蒸留酒の街アルマニャックを巡り日常を離れた特別な時間を過ごしましょう。

さらに詳しく知るには: www.chronotours.com

電動自転車に乗ってアルマニャックのぶどう畑を散策しましょう。

さらに詳しく知るには: www.lesangelots.fr/randos-vae.html

シェフと過ごすグルメな時間

ミディ・ピレネーには星付きシェフが多く、その技量を伝えることに熱心な料理人もいます。アン&ベルナル・バック夫妻は月に2回、見習いシェフたちをジェール県ピュジョドウランにある二つ星レストランの厨房に迎え入れています。ピュイ・サン＝ジャックの厨房で開催されているこの料理教室の名前は、「アントル・アミ(友人同士)」。タルヌ＝エ＝ガロンヌ県サン＝ボーゼイユにあるオステルリ・デュ・シャトー・ドゥ・ロストのシェフも同様に、料理教室を開催しています。また、タルヌ県ガイヤックにあるラ・アール・オ・テロワールではワークショップも行われています(フランス語、英語、スペイン語対応)。有名なクロカン・ドゥ・コルドなど、すぐに食べて楽しめる一品を自分で作る教室です。さらに、ラバステイドゥ＝ドゥ＝レヴィにあるワインカーヴでは、料理と合うワインについて専門家がアドバイスをするサービスを行っています。

お勧めは トップ・シェフ気分を味わう(タルヌ県、ジェール県、タルヌ＝エ＝ガロンヌ県)

誰向け? 料理の腕を磨きたい人

場所 ピュジョドウランにあるピュイ・サン＝ジャック、サン＝ボーゼイユにあるシャトー・ドゥ・ロスト、ガイヤックにあるラ・アール・オ・テロワール。

もっと知りたい人は:画家ロートレックのレシピを入念に再現する、ラ・アール・オ・テロワール主催の料理教室をチェック:

www.lahalleauxterroirs.com

さらに一步踏み込んだ旅

ミディ・ピレネー地方観光局のホームページでは、美食をテーマにしたプログラムを多数提案しています。

・トゥールーズ中部の文化とガストロノミー(英語対応)

<http://voyagistes.tourisme-midi-pyrenees.com/culture-et-gastronomie-dans-le-midi-toulousain/toulouse/tabid/3210/offreid/720391d3-4d24-4b02-93cc-93eed81f863d/che-tovo.aspx>

・アルタニャン地域のガストロノミー

<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/gastronomie-au-pays-de-d-artagnan/auch/tabid/2271/offreid/897ff7f77aa3-48ce-9979-0682306440c6/detail.aspx>

・シュド・ウエスト地方のワインを発見(英語対応)

<http://voyagistes.tourisme-midi-pyrenees.com/a-la-decouverte-des-vins-du-sud-ouest/cahors/tabid/3210/offreid/>

・バイクで巡るバラ色の街とぶどう畑

<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/a-moto-entre-ville-rose-et-vignobles/toulouse/tabid/2271/offreid/8dbc83f2-5f25-4914-802c-4f5da1fe2293/detail.aspx>

・ヴィタパス・サンサシヨン

<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/sejour-vitipass-sensation/lisle-sur-tarn/tabid/2271/offreid/713ca38c-1786-4e9e-9e59-09b40f0ce98a/detail.aspx>

ブログから

«ソレックスだけでなく、2CVでの散策もおすすめしてくれたヨアンと待ち合わせをしました。こんなアクティビティに参加したのは今回が初めてでしたが、夢のような体験でした。午後のあいだずっと、2CVの後部座席に乗って、タルヌ県の小さな村や美しい建物を見て回る。甘い生活を味わえるひとときでした!»

フルストーリーはこちらから:
「アトリエ・デ・ヴァカンス」:
<http://sejour.atelier-des-vacances.com/carnet/une-ba-lade-en-2cv-pour-decouvrir-les-bastides-et-le-vignoble-du-gaillac-tarn/>





喜びの時 さまざまな感動

芸術家、科学者、研究者、重力の法則に挑んで確信を揺るがす冒険家までを迎え入れるミディ・ピレネーは、時に非常に私的に、時に深く普遍的に、さまざまな人々と独特のつながりを持ってきました。たとえば、画家のロートレック。生まれ故郷のアルビは、今も家族の遺産を共有しています。毎年、マルシアックで開催されているフェスティバルを訪れるジャズの大家たちとも親交を結んでいます。また、150年前から世界の巡礼者がルルドに集結。ミディ・ピレネーは、普遍の信仰心ともつながりを持ち続けています。



子孫の視線で見たロートレック

アルピとロデーズのあいだにある美しいシャトーを見るためだけに、人々がこの地を訪れるわけではありません。ここに来れば、画家のプライベートと幼少期の思い出に触れることができます。画家アンリ・ドゥ・トゥールーズ＝ロートレックが子供時代を過ごしたこのボスク城は、アヴェロン県カムジャック（ノセル）に位置し、今も家族の住宅として使われています。現在は、ロートレックの子孫にあたるニコール・タピエ・ドゥ・スレイランさんが、好奇心に満ちた訪問者を私的空間へ優しく迎え入れてくれます。

お勧めは ロートレックの家

ベストシーズン 予約をすれば1年中いつでも

誰向け? 好奇心旺盛な人

場所 ボスク城（アヴェロン県）

さらに一步踏み込んだ旅

ロートレックの足跡を追うシャトー探訪

アルピに生まれ、この地域にあるさまざまな城で暮らしたロートレックの足跡をテーマにしたプログラムがあります。ボスク、モーリアック、サレットのシャトーに足を運び、世界で最も多岐にわたるコレクションを所蔵するトゥールーズ＝ロートレック美術館を訪れます。

www.destination-groupes.net



アルピ体験談

「この美術館に入って驚くのは、ここが世界でも有数のコレクションを誇るロートレック美術館であると同時に、現代美術館でもあることです」。

造形芸術家デニス・ミオーの言葉

詳しくはメディア・ピレネー地方観光局のウェブサイト内「観光スポット特選」アルピのページにある動画へ





心躍るマルシアックのフェスティバル

ジェール県の谷間のくぼみにある13世紀の要塞都市マルシアックは、ジャズの持つエスプリ、真性、活発性に惹かれ、40年近くにわたり世界で最も重要なジャズ・フェスティバルのひとつを開催してきました。7月末～8月中旬、毎年25万人の観客が押し寄せます。ファンはアーティストとの距離の近さに驚き、アーティストも、このフェスティバルは他のフェスとはまったく異なると指摘。ジャズマンたちは、この地をまるで自分たちの家のように感じているのです。町の中央広場では毎朝無料コンサートが行われ、演者と観客が交流、レストランやカフェのテラスを利用したライブでは、親しみやすい雰囲気が広がります。夜は巨大テントの下、まるでステージと客席の隔たりがなくなってしまうかのように、アーティストと観客が一体化。ラストラダで企画されている文化的プログラムのおかげで、このフェスティバルの特別な密着感は今後も続いていきます

お勧めは ジャズの世界に浸る時間

ベストシーズン 1年中

誰向け? ミュージシャン

場所 マルシアック(ジェール県)



さらに一步踏み込んだ旅

詳しくはミディ・ピレネー地方観光局ウェブサイト内のページ「ル・セジュール・エスカパード・タンドレス・ア・マルシアック、キャピタル・デュ・ジャズ」へ

<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/escapade-tendresse-a-marcillac-capitale-du-jazz/marcillac/tabid/2271/offreid/d40330bd-7c49-4bf8-8a4f-9c921a19cede/detail.aspx>



マルシアック体験談

「最初は3日間、次は8日間、今では15日間フェスティバルへ出向き、ジャズシーンの中心であるラストラダで、冬のあいだも50回はライブを見えています。マルシアックは生きているようで、1年中いつでもなにかが見られる。最高です!」

ブドウ栽培者アンドレ・デュボスクの言葉

ミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内「観光スポット特選」にある動画をご覧ください。





トゥールーズのファサードの奥に控える オテル・パルティキュリエ

ラグビー、航空機、訛り、親しみやすい雰囲気、バラ色のレンガ…ミディ・ピレネー地方の中心都市トゥールーズには、まだまだたくさんの驚きがあります。特に、思い切って扉を開きたときに見つかるはずです。通り沿いの一見地味なファサードの向こう側には、バステルの取引で町を発展させたルネッサンス期の真の宝石と言うべく、オテル・パルティキュリエの中庭があります。

お勧めは 1年中いつでも
ベストシーズン 好奇心旺盛な人
誰向け? 家族連れ
場所 ブラニャック

詳細はこちらから www.toulouse-tourisme.com

ブログから

「中庭を知らなければ、トゥールーズを知っているとは言えません。想像してみてください。トゥールーズはルネッサンス期に建てられた大邸宅(オテル・パルティキュリエ)の数で国内最多記録を保持。現在、52の建物がオテル・パルティキュリエに登録されており、中庭はさらにその上を行きますが、その多くが建物の枠組みの中に隠れているため、中庭は控えめな存在になっているのです。」

フルストーリーはこちらから:
「トゥリズム・アン・ミディ・ピレネー」
<https://tourismemidipy.wordpress.com/2015/03/24/mes-sentiers-dans-toulouse-des-cours-tres-particulieres/>

噴水にもご注目を:

「夏には涼しさを演出し、どんな季節でも魅力的な噴水に導かれて、サン＝ティエンヌ広場にあるキャピトル公園へ。ついてきてください、トゥールーズの中心地には最も美しい噴水があるんです。噴水から流れ出る水にはトゥールーズの歴史が反映されており、逸話が渦を巻いています。」



トゥールーズ 体験談

「トゥールーズでは人と人のつながりに特異性がありますが、むずかしいことではありません。野性的、かつ強力。ちょうど、トゥールーズ訛りのように。」

星付きシェフ、ミシェル・サランの言葉

詳しくはミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内「観光スポット特選」にある動画をご覧ください。



神聖なピレネーの町、 ルルド

世界的に知られた旅行先でありながら、ルルドを訪れる目的は、他の町のように観光ではけてありません。時間を越え、日常を越え、普段の旅行を越えた、スピリチュアルな旅。ルルドへの巡礼は毎年何百万人もの人々が共有する共通善なのです。情熱と平穏のはざまにあるこのピレネーの聖母の町には、マッサビエルの洞窟の奇蹟があり、150年以上前この場所にいた少女ベルナデッタ・スビルーの目の前に聖母マリアが出現したと言われています。4月～10月、毎日夜9時にロウソク行列が開始。すべての国家、人々、言語、すべての信仰、そして信仰を持たない者までもが一体になる特別な瞬間です。

お勧めは 世界に類を見ない他者との一体感

ベストシーズン 1年中いつでも

場所 ルルド(オート=ピレネー県)

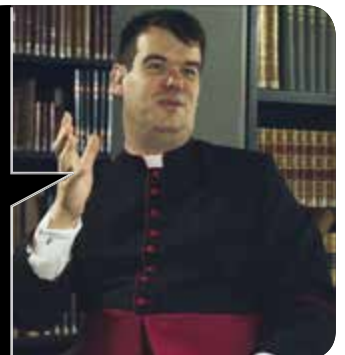


ルルド 体験談

«ここにいらした方々が感銘を受けるのは、作法のシンプルさです。岩に触れる、ロウソクに日を灯す、なにも複雑なことはありません。なんでもないことですが、このなんでもないことこそが、ほぼすべてののかもしれません。」

ルルドの司祭グザヴィエ・ダロード・ドゥ・ペイリアーグ言葉

詳しくはメディアピレネー地方観光局のウェブサイト内「観光スポット特選」ルルドのページにある動画をご覧ください。





先史時代にさかのぼる

ピレネー・アリエージュ県の中央にあるタラスコン＝シュル＝アリエージュ、ニオー洞窟やマス・ダジルの壁画がある先史時代を象徴する史跡の近くに、時間をさかのぼることができる先史公園 (Parc de la Préhistoire) があります。人間の遠い祖先であるマグダレニア人が過ごした(であろう)1日を体験できます。1万4,000年前の当時の住居が再現されており、狩りの仕方、火打ち石の削り出し方、壁画の描き方、火の起こし方などを学ぶことが可能。これまでにない経験ができることはまちがいありません。ぜひ先史時代にのめりこんでください!

お勧めは 先史公園で、先史時代の人たちが身に着けていた小さな服を試着

ベストシーズン 4月～11月

誰向け? 家族

場所 タラスコン＝シュル＝アリエージュ(アリエージュ・ピレネー県)



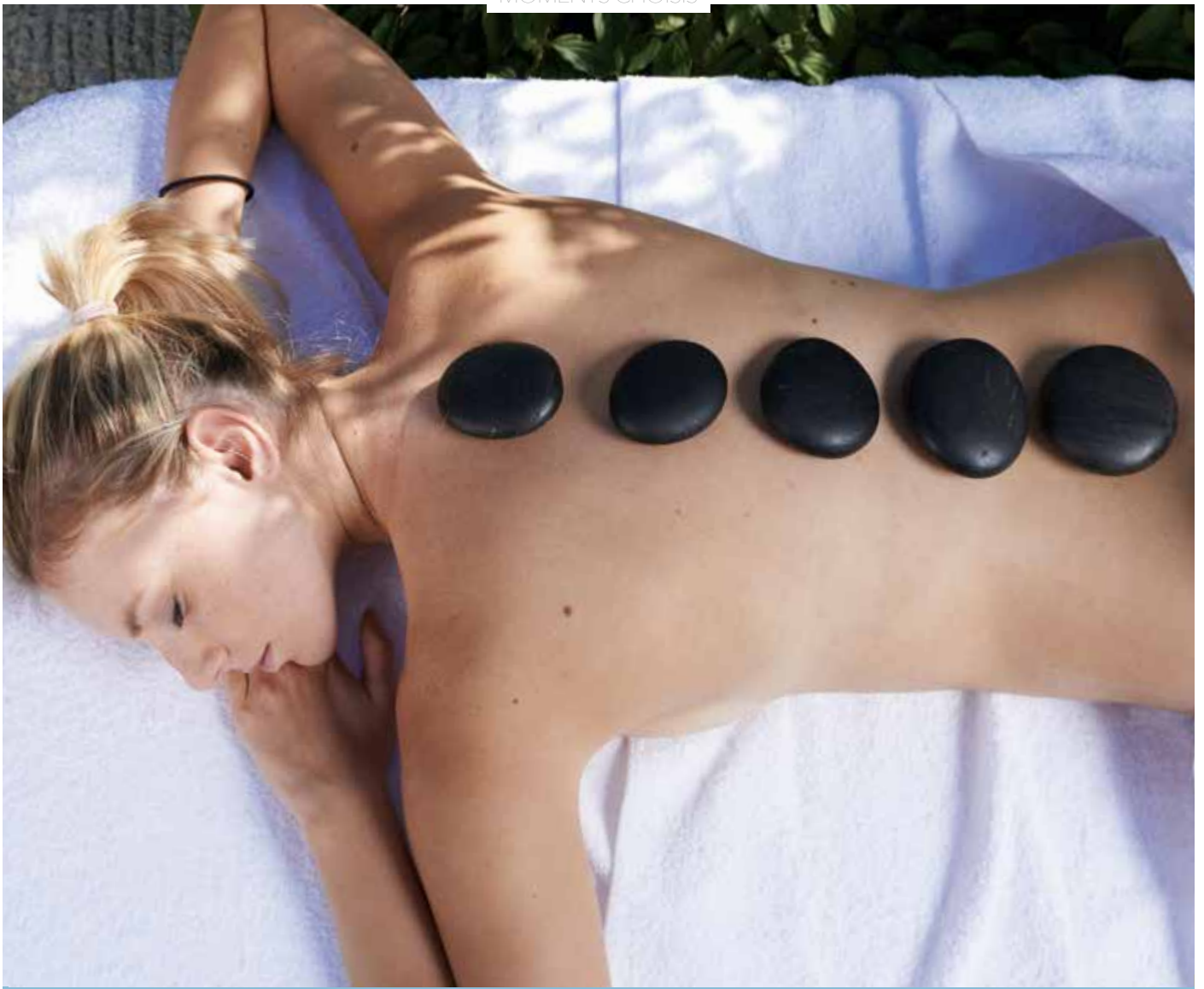
アリエージュ体験談

“背景にある、このアリエージュは、野外にある歴史書のようにです。アリエージュで一番、自分に訴えかけてきたのは、光です。よく旅行をしますし、すべての大陸に少なからず行きましたが、アリエージュ、ラヴラネ、モンセギュールを満たす光は、他では見られません。ここには愛があり、それが光と混ざり合っているからかもしれません。”

画家マディ・ドゥ・ラ・ジロディエールの言葉

詳しくはミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイト内「観光スポット特選」コレクション・アリエージュのページにある動画をご覧ください。





オフのひととき 自分だけの時間

ピレネーのくぼみに隠れるように、ジェール県とアヴェロン県にまたがる田園地帯には、ミディ・ピレネー温泉関連施設が17カ所あります。この一帯の鉱泉水には独自の特性があり、確かな技量、設備、画期的な治療法が揃っている訪問者には非常に恵まれた環境です。生活の充足と健康を求める人々の行き先であるミディ・ピレネーを訪れば、ヨーロッパでも指折りの壮観なパノラマを楽しみながら、テルマリズム（鉱泉治療）やテルモリュディズム（ハイドロリラクゼーションとエステなどを組み合わせたもの）の施術を受けることができます。また、治療には新しい要素が取り入れられており、保湿効果があるとされるバステルを用いたトリートメントが、そのいい例です。

天然温泉水のスパにつかる

山奥の、オリゴ元素を多く含む土地に建てられたミディ・ピレネーにあるテルモリュディズムの施設で、湯治や数時間のリラクゼーションに使う鉱泉水は優れた特性にあふれています。ミディ・ピレネーは温泉に特化したフランス初の地域であり、ヨーロッパで最もテルモリュディズムの施設が密集している場所でもあります。

さらに一步踏み込んだ旅

地方観光局のウェブサイトでさまざまなプログラムを紹介しています
・プチット・ポーズ・ピレネーヌ(ピレネー流のささやかな息抜き)
<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/petite-pause-pyreneenne/bagneres-de-bigorre/tabid/2271/offreid/ed6b5a3e-4edb-4f71-9bf4-6ad95292a496/detail.aspx>
・ネウヴィエル・ガヴァルニ、ランドネ・ピヤンエートル(ネウヴィエル・ガヴァルニを巡る充足のトレッキング／英語対応)
<http://voyagistes.tourisme-midi-pyrenees.com/neouvienne-gavarnie-randonnee-bien-etre/bareges/tabid/3210/offreid/65a03d31-6362-4a4e-a986-481c2887e3e9/che-tovo.aspx>
・デ・セジュール・ピヤンエートル・アン・オ・テルマル(温泉に癒やされる充足の滞在)
<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/accueil/dormir-et-sejourner/sejours/bien-etre/13/sejours-hiver/remise-en-forme/page-1>
・デ・シルキュイ・ピヤンエートル・エ・デクヴェルトゥ(充足と発見のツアー)
<http://www.tourisme-midi-pyrenees.com/accueil/a-voir-a-faire/activites-et-detente/thermalisme-et-bien-etre/les-circuits-bien-etre-et-de-couverte>

ブログから

« カルダリウム(古代ローマの高温浴室)、フリギダリウム(冷浴室)、ジャクジー、ミュージカル・バス。興味本位で試し、されるがままになるのも気持ちがいいものです!そのままハمامへ導かれて蒸気に満ちた石造りの中で安らぎ、そのあとにはファンシャワーもあります。温泉の噴水では体を浄め、治療効果が認められている硫黄をわずかに含んだ蒸気を吸い込むこともできます。»

上記のバルネアや、他のテルモリュディズム施設について、フルストーリーはこちらから:
「トゥリズム・ミディ・ピレネー」
<https://tourismemidipy.wordpress.com/2015/07/06/balnea-immersion-dans-tous-les-bains-du-monde/>

パステルの効能

パステル(大青／タイセイ:学名Isatis tinctoria)は16世紀、トゥールーズ、アルビ、カルカソンヌに囲まれた“黄金の三角地帯”に富をもたらしたことで知られる、この地域で昔から栽培されてきた植物です。鮮やかな青色が評判で、パステルから作った染料コカーニュは伝説を生みましたが、その後衰退、現在は2つの目的で使用されています。

健康と美容に

ジェール県レクトゥールにある温泉療法施設が提案する施術の中に、「リチュエル・ブルー・パステル・レクトゥール」という独自のメニューがあります。保湿効果があるとされるパステルのバージンオイルをベースにしたボディトリートメント(スクラブ、湿布、マッサージ)です。これと同様に、パステルをベースにしたフランスならではの施術を提案している施設が、トゥールーズ・メトロポール地域内に2つあります。トゥールーズ旧市街にあるグレース・ドゥ・パステル研究所は、ピオコスメと、パステルオイルの成分の特性を生かした世界初のエステティックケアに力を注いでいます(グレース・ドゥ・パステルは2015年9月、五つ星ホテルのラクール・デ・コンスル内にスパ施設をオープン、ホテル利用者だけでなく、一般の方も利用可能)。また、ラページュにあるテール・ドゥ・パステルは、博物館、スパ、レストラン、ショップといった補足的空間も充実した複合施設です。

お勧めは パステルの保湿効果を体験(ジェール県、オート＝ガロンヌ県)

ベストシーズン 1年中いつでも

誰向け? 休息を必要としているすべての人

場所 トゥールーズにあるグレース・ドゥ・パステル研究所(grainedepastel.com)、ラページュにあるスパ・テール・ドゥ・パステル(terredepastel.com)、テルム・ドゥ・レクトゥール(valvital.fr)

染料に

アネット・アルドゥアンさんは、シャトー・ルーバンに見習い染物師たちを迎え、パステルの特性を生かした斬新な滞在型ワークショップを開催しています。工芸名匠(Maitre-artisan en Métiers d'Art)の称号を持



ち、パステル・アカデミーの会員であり、アンフィニマン・パステル協会の会長でもあるアネットさんは、トゥールーズのミニム地区に工房を作り、パステルの理解を広める工芸コースやセミナーを年間を通して行っています。

お勧めは 青い染料の文化を堪能する時間(オート＝ガロンヌ県)

ベストシーズン トゥールーズなら通年、シャトー・ルーバンなら夏

誰向け? クリエイティブな人

<http://www.ahpy.eu>

さらに一步踏み込んだ旅

パステルの恩恵で建てられたルネッサンス期の建造物を介した、トゥールーズの建物遺産に関するガイドツアーがあります。

・パステルに関する一般的なツアーについては:

<http://www.toulouse-tourisme.com>

・パステルの歴史的道筋を追うバックツアーについては、ミディ・ピレネー地方観光局のウェブサイトへ:

<http://voyagistes.tourisme-midi-pyrenees.com/laroute-historique-du-bleu-pastel/muret/tabid/3210/offreid/0621a338-d839-4b7b-819d-9010a3f5357e/che-tovo.aspx>

制作:ミディ・ピレネー地方観光局
(COMITÉ RÉGIONAL DU TOURISME)
住所:15 RUE RIVALS - CS 78543
31685
TOULOUSE CEDEX 6
電話番号: 00 33 561 13 55 21



Action réalisée par le Comité Régional
du Tourisme Midi-Pyrénées.

LANGUEDOC
ROUSSILLON
LA RÉGION MIDI
PYRÉNÉES

www.tourisme-midi-pyrenees.com